

知性・情操・健康・友愛の調和のとれた発達を目指す

田辺中だより

No.5 令和6年8月27日発行

京田辺市立田辺中学校

京田辺市興戸北鉾立21番地

TEL:0774-62-0021 FAX:0774-62-5099

学校ホームページURL【<https://www.kyotanabe.ed.jp/nc3/tanabe-jh/>】

「 2つの当たり前 ～信頼される存在へ～」

生徒指導主任 横井 秀平

長いようで、あっという間だった夏休みも終わり、二学期がスタートしました。日数としては、一年間の中で最も長い学期となりますが、合唱コンクールや体育大会などの学校行事が予定されており、慌ただしく毎日が流れていくことが予想されます。ただ、日々の生活が多忙になればなるほど、我々人間は当たり前のことを疎かにしがちになります。それをどのように意識して、どのような生活を送っていくのが大切です。

さて、見出しにもある「当たり前」という言葉を皆さんはどのような捉え方で、どのように使っているのでしょうか。もしくは、そこまで深くこの言葉について考えたこともないという人も多いのではないのでしょうか。そこで今日は、2つの「当たり前」について、考えてみましょう。

1つ目は、『当たり前にあるものは当たり前ではない』という言葉です。平凡に過ごす日常、身の回りの環境や、家族や友達など、自分の大切な人々等々。ご飯が食べられて、学校に通える。興味のあることを勉強する。友達と遊ぶ。何気なく過ごしている時間ですら当たり前にあるものではありません。そう考えていくと、何事にも感謝の気持ちが芽生えてきませんか。自分の周りにあるものすべてに感謝をし、謙虚な行動を目指しましょう。

2つ目は少し違う角度から、『当たり前なことを当たり前にするには難しい』という言葉です。朝起きて、家族におはよう、と言う。食事をするとときに、いただきます、と言う。人に何かしてもらった時には、ありがとう、と言う。学校であれば、服装を正す。ベル準ベル着、掃除、きちんとした言葉遣い。思いやりを持って行動する等々。どれも当たり前にならなければならないことですが、自分一人では意識をしても完璧に継続することは意外と難しいですね。だからこそ、身の回りの人たちとのより良い関わりの中で、互いに意識し合い、当たり前を達成していきましょう。

学校行事、学校生活、部活動、また各家庭や地域の中で、存在する当たり前に感謝し、一方で自らの当たり前を確立し、素晴らしい二学期を過ごしましょう。それが、信頼される存在へなるための第一歩ではないでしょうか。

今後の予定

8月28日(水)	PTA 登校指導 給食開始
9月4日(水)	一斉委員会
9月10日(火)/11日(水)	合唱取組開始(1年生は10日から)
9月18日(水)	1年生合唱コンクール(本校体育館 保護者参観)
9月19日(木)	2・3年生合唱コンクール(文化パルク城陽 保護者参観)
9月20日(金)	合唱コンクール結果発表
9月22日(日)	綴喜地方新人陸上大会
9月25日(水)	いじめ・教育相談アンケート、月末振り返り職員会議
9月28日(土)～29日(日)	綴喜地方新人大会
9月30日(月)	3年生実力テスト

「田辺中生頑張ってます」 夏の奮闘！

○令和6年度綴喜中学校夏季体育大会

<団体の部>

陸上競技 男女総合	優勝 (男子1位 女子2位)
ソフトテニス 女子団体の部	優勝
ソフトテニス 男子団体の部	優勝
バスケットボール 女子の部	優勝
ハンドボール 女子の部	優勝
剣道 女子 団体の部	優勝
バドミントン女子 団体の部	優勝
バドミントン男子 団体の部	準優勝
野球	準優勝
ハンドボール 男子の部	準優勝
ソフトボール	準優勝
剣道 男子 団体の部	準優勝



<個人の部>

剣道 個人女子の部	第1位 藤原 由珠 第2位 山岡みゆう 第3位 武市 絆
卓球 個人男子の部	第1位 塚脇 卓朗
バドミントン 女子個人シングルス	第1位 折井 礼佳
バドミントン 女子個人ダブルス	第2位 野秋 和奏・仁田山 衣央ペア 第3位 竹内 優月・藤原 桃花ペア 第3位 北川 萌夏・水元 汐理ペア
バドミントン 男子個人シングルス	第2位 今村 奏月
バドミントン 男子個人ダブルス	第3位 井上 裕誠・甲木 玄真ペア
ソフトテニス 女子個人の部	第1位 前川 悠月・永田 美陽ペア 第3位 住田 陽渚・山崎 真理乃ペア 第3位 岡田 ひより・三品 花梨ペア
男子個人の部	第1位 竹田 一惺・樋口 瑛大ペア 第2位 山村 琉聖・塩見 一志ペア 第3位 緑川 颯太・嶋岡 琥珀ペア
陸上競技 優勝種目 男子	1年 100m 池田 拓叶 2年 100m 小林 睦和 110H 兼松 凌吾
女子	1年 100m 奥村結愛 2年 100m 安岡 陽葵 共通 800m 内藤 梨乃 低学年 4×100m リレー 岡本詩卯・北緒一葉・奥村結愛・安岡陽葵

○令和6年度 山城地方中学校体育大会

<団体の部>

バスケットボール女子の部	優勝
ハンドボール女子の部	優勝
ソフトテニス男子の部	優勝
ソフトテニス女子の部	優勝
ハンドボール男子の部	準優勝
バドミントン女子団体の部	第3位
剣道女子 団体の部	第3位



<個人の部>

バドミントン女子個人シングルス 優勝 折井 礼佳
 ソフトテニス男子個人 第3位 竹田 一惺・樋口 瑛大ペア/山村 琉聖・塩見 一志ペア
 卓球個人男子の部 第5位 塚脇 卓朗
 硬式テニス個人男子の部 優勝 野々村 桔平
 柔道 個人女子の部 第2位 山田 璃乃
 新体操 個人 第3位 矢口 真鈴
 陸上競技の部 【7月号で掲載】

○令和6年度 京都府中学校総合体育大会

<団体の部>

ハンドボール 女子の部 優勝
 ハンドボール 男子の部 準優勝
 ソフトテニス 男子団体 第3位
 ソフトテニス 女子団体 第3位
 バスケットボール女子の部 惜敗
 バドミントン 団体女子の部 惜敗



<個人の部>

バドミントン 個人女子の部 優勝 折井礼佳
 卓球個人男子の部 塚脇 卓朗 ベスト 16
 陸上競技の部 1年女子 100m 第1位 奥村結愛
 低学年 4×100m 第1位 岡本詩卯・北緒一葉・奥村結愛・安岡陽葵
 共通 800m 第2位 内藤 梨乃
 2年女子 100m 第6位 安岡 陽葵
 陸上競技の部 男子砲丸投 第4位 藤林 天馬
 男子四種競技 第6位 崎村 拓真
 硬式テニス 個人男子の部 準優勝 野々村 桔平
 柔道 個人女子の部 第3位 山田 璃乃

8月2日(金)
 京田辺市教育長表敬訪問
 ・ハンドボール部主将
 ・ソフトテニス部男子主将
 ・バドミントン部 個人
 ・陸上部 出場者
 ・硬式テニス

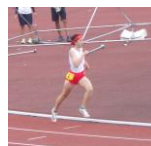
○令和6年度近畿中学校総合体育大会

ハンドボール 女子の部 準優勝
 男子の部 第3位
 ソフトテニス 男子団体の部 惜敗
 バドミントン 女子シングルス 折井 礼佳 ベスト 8
 硬式テニス 野々村 桔平 ベスト 16
 陸上競技 共通 800m 第2位 内藤 梨乃
 低学年 4×100m 第4位 岡本詩卯・北緒一葉・奥村結愛・安岡陽葵
 1年女子 100m 奥村結愛 予選惜敗



○令和6年度全国中学校総合体育大会

ハンドボール 女子の部 2回戦 惜敗
 陸上競技 共通 800m トライアルの部 第6位 内藤 梨乃



○第61回 京都府吹奏楽コンクール

A編成 「金賞」2年連続!



授業にお邪魔しました

1年5組 前嶋学級

6月27日(木)3時間目の社会の授業にお邪魔しました。この单元では「アジア州における急速な経済発展は地域にどのような影響を与えているのだろう」という問題を解決していくところでした。本日はアジアの国々の場所と地名を覚えるということ、アジアの気候の特色を理解し説明できるという二本柱で進めていました。降水量の「多い少ない」を決めるのは何か、ということも考えていました。理科の授業にもつながりそうですね。グループ活動で分担を話しながら、てきぱきと作業を進めたり、解が出るように教科書の根拠を探したりして活発に授業が行われていました。

1年5組の三役さんにインタビューすると、学級目標は

「夢に向かって全力で やればできる」で、「人それぞれ夢や目標があるから全力で進んでいこう!」という思いを込めたそうです。また、黒板の上に「顔晴れ」のイラストがありました。それは担任の先生の「みんなが様々な場面で頑張ること、笑顔あふれ、晴れやかな教室になるように」という願いがあるそうです。クラスはメリハリもあり、男女仲がよいそうです。1学期の校内学習のたなログも盛り上がり、4位だったけど誰も責めたりせずより仲が深まったそうです。2学期の行事でもっと仲を深めていきたいと意気込みを語ってくれました。



1年7組 吉田学級

7月17日(水)3時間目の理科の授業にお邪魔しました。本日は「気体の性質を表にまとめよう」というめあてで、いろいろな気体の性質について学びました。気体については、既知のものもあれば未知のものあるようで、プリントに整理しながらそれぞれの特徴をポイントに合わせて押さえていました。教科書の表を自分でわかりやすいように工夫して一生懸命書き込みをしている姿が見られました。また2年生で行う実験を演習で見せながら、「水素」に関する学習を進めていました。

1年7組の三役さんに話を聞くと、7組は個性豊かで生き生きしているクラスだそうです。学級目標は、「Rainbow～40色の個性～」で「40人が一人一人の個性を尊重して輝かせるため思いやりを持っていいクラスを作ろう」という思いが込められています。お互いの個性を認め合い、いいところを生かしているのがクラスのよさで、目標がないと少し崩れてしまうのが課題だそうです。だから、三役が中心になって声掛けを大切にしているということでした。



若草学級 宮田先生・岸本先生・北村先生

7月2日(火)5時間目の家庭科の授業にお邪魔しました。被服室で裁縫をしていました。「ティッシュケースを作ろう」というめあてで、フェルト生地を使ってティッシュケースを作っていました。

今年度から若草学級の学級目標が変わりました。今年は「仲間を思い元気と笑顔が絶えない学級」です。得意不得意がそれぞれ違います。だからこそお互いを思いやりながら様々な活動を進めています。交流学級にも参加する生徒がいますので、全員が揃うことは多くありません。それでもお互いに教え合いながら作業を進める姿が見られました。

作品は学習発表会展示の部でまた展示したり、田辺カーニバルの日にお披露目します。鋭意作成中です。

